

平成 30 年度 四国ブロック青少年国際交流を考える集い開催要綱

1. 趣旨

内閣府、四国ブロック内の地方公共団体等が実施した青少年国際交流事業の既参加者、国際交流に関心のある青少年等が、事後活動の情報交換を行うと共に、地域、職場等における事後活動の促進、国際交流及び国際親善についての研究協議を行うことにより、青少年の育成、国際交流及び国際親善の促進に寄与することを目的とする。

2. テーマ

『小さな島で大きく生きる』～ 世界から人を呼び込む力を磨こう ～

国立社会保障・人口問題研究所が公表した『日本の地域別将来推計人口(平成 30 年推計)』でも明白のように、我が国の人口は減少する一方である。将来的に人口減少の意味するところは、集落の消滅や経済の停滞といった、国家規模の危機である。山間部や多くの離島を抱える四国地方も例外ではなく、各県がこれらの課題に資する対策を打ち出している。

その一例として、2010 年に始まった「瀬戸内国際芸術祭」は、その後 3 年おきに開催され、毎回盛況を博している。芸術祭は、ともしれば忘れられがちな、瀬戸内海沖の小さな島々を舞台にしており、国内外を問わず多くの人々を魅了してきた。そして、その盛況ぶりは単なる一過性のものではなく、新たな可能性を秘めているのかもしれない。

本大会の基調講演には、NPO 法人男木島生活研究所の福井大和氏をお迎えする。福井氏は、「瀬戸内国際芸術祭」を契機に故郷である男木島へ家族と共に移住した。近年、男木島では福井氏のような若い世代の移住者が増えている。移住後、福井氏は地元住民と移住者間の協力を促し、生活環境を整えてきた。それだけに留まらず、活動内容を世界に発信することで、更なる共感を得て、新たな人材を呼び込んでいる。

内閣府、四国ブロック内の地方公共団体等が実施した青少年国際交流事業の既参加者は、事業から得た経験や異文化理解に対する幅広い知見を元に、地域に貢献することが期待されている。瀬戸内海に浮かぶ男木島、四国、ひいては日本も世界から見ると、「小さな島」に過ぎない。通信技術の発達により、世界に情報を発信したり、逆に情報を取り入れたりすることが容易になった現在、「小さな島」にいる私たちでも、考え方や行動一つで、大きな世界に開かれた生き方が可能である。

本大会を通じて、人々を巻き込む力と世界への発信力が、様々な能力を持った人材間の協力を促し、地域の活性化に繋がっていく過程を学ぶ。そして、参加者が自らを振り返ったり、互いに活発な議論を交わしたりすることで、各自の現状を知り、今後更なる地域の活性化に貢献していくきっかけになることを目的とする。

3. 主催

内閣府
日本青年国際交流機構
一般財団法人 青少年国際交流推進センター
香川県青年国際交流機構

4. 後援

香川県、高松市、高松観光コンベンション・ビューロー

5. 主管

平成 30 年度「四国ブロック青少年国際交流を考える集い」実行委員会

6. 期日

平成 30 年 7 月 21 日(土) ～ 22 日(日)

7. 会場

【会場名】ルポール讃岐

【会場住所】香川県高松市中野町 23-23

【会場連絡先】087-831-3330

8. 参加対象者

内閣府、各ブロック内の地方公共団体が実施した青少年国際交流事業の既参加者
国際交流に関心のある青少年等

9. 問合せ先

四国ブロック青少年国際交流を考える集い実行委員長 このぶ ゆ か 小延 由香

【E-Mail】kagawaiyeo@gmail.com

10. 参加費

全日程参加 (懇親会費込、1泊2日朝食付)	
大人(大学生以上)	¥10,000
中高生	¥5,000
日帰り参加 (懇親会費込)	
大人(大学生以上)	¥5,000
中高生	¥3,000
日帰り参加 (懇親会費なし)	
大人(大学生以上)のみ	¥500

※ 小学生以下は、いずれの日程においても参加費は無料。

※ シングル希望の場合は、追加料金 1,000 円。(先着順)

※ その他の宿泊の希望(同室者の希望等)があれば、可能な限り対応します。
(希望に添えない場合もありますので、予めご了承ください。)

11. 参加申し込み

下記申込専用サイトから 7 月 6 日(金)までにお申し込み下さい。

【申込専用サイト】 <https://goo.gl/forms/a7VCEowkWqnlHApt1>

【振込先】振込期限：7 月 13 日(金)

■ 郵便局から振り込む場合

ゆうちょ銀行 記号：16380 番号：2045861
香川県青年国際交流機構

■ 銀行から振り込む場合

ゆうちょ銀行 店名：六三八(ロクサンハチ) 店番：638
預金種目：普通預金 口座番号：204586
香川県青年国際交流機構



12. 日程

第1日目 7月21日(土)

- 12:15～13:15 国際交流事業関係者連絡会議（小ホール1）
13:00～13:30 受付
13:30～13:45 開会式
13:45～15:30 基調講演「共感が紡ぎ出す次世代へのバトン
～小さな島に芸術の祭典がもたらした兆しと可能性～」
講師：NPO 法人男木島生活研究所 福井 大和 氏
- 15:30～16:00 写真撮影 / 分科会準備
16:00～17:30 分科会（以下より選択）
A：ワークショップ「たのしく！たくましく！ゆたかに！」
基調講演を踏まえて、参加者のこれまでのライフスタイルを振り返り、グループ内で、普段交流の機会が少ない他県 IYEO のメンバーや留学生の考え方を聞いたり、話し合いをしたりすることで、今後の生活へのヒントを得られるような場の提供を目的としています。
- B：Let's Enjoy Together! 菓子木型から広がる世界（先着順）
高松市内で和三盆体験ルーム「豆花」を主宰する、上原あゆみ氏を講師に迎え、和三盆作りを体験します。その後、菓子木型が取り持った人のご縁や、そこから広がる楽しい世界について、お話いただきます。（小学校低学年以下のお子様には必ず大人が付き添ってください。）
- 17:30～18:30 チェックイン
18:30～20:30 懇親会

第2日目 7月22日(日)

- ～ 9:30 チェックアウト
9:30～10:30 帰国報告会
10:30～11:00 閉会式
11:00～14:00 地域理解研修「栗林公園散策」 参加費：1,500円（昼食・諸費用込）
国の特別名勝「栗林公園」は、高松市の中心部に位置するにもかかわらず、豊かな自然に囲まれ、穏やかな時間の流れを感じることができる「都会のオアシス」です。歩を進めるごとに様々な表情を見せる、美しい大名庭園を散策しましょう。庭園内の掬月亭にて、お茶席をご用意しております。

13. 実行委員会

実行委員長	小延 由香	第 25 回「日本・韓国青年親善交流」事業（2011）	高松市
副実行委員長	菅 圭介	第 16 回「世界青年の船」事業（2003）	高松市
事務局長	柿木 直子	第 13 回「青年社会活動キャリアー育成プログラム」事業（2014）	さぬき市
委員	坂本 愛	第 24 回「東南アジア青年の船」事業（1997）	高松市
委員	滝川 祐子	第 16 回「世界青年の船」事業（2003）	高松市
委員	黒田 絵美	第 19 回「世界青年の船」事業（2006）	丸亀市
委員	井上 裕希	第 20 回「世界青年の船」事業（2007）	坂出市
委員	山本 なるみ	第 20 回「国際青年育成交流」事業（2013）	観音寺市
委員	横内 彩	第 27 回「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」事業（2014）	観音寺市
委員	古庄 伸吾	第 20 回「青年の船」事業（1986）	綾歌郡

※参加年度、事業回数は早見表でご確認ください。<http://www.iyeo.or.jp/ja/profile/doc/hayami.pdf>